



●発行日／2011年9月1日
●発行者/東海大学付属高輪台高等学校・中等部 校長・黒坂道生

「知性と品性、そして感性を」

若き日に汝の思想を培え

Cultivate your thoughts in your early days

若き日に汝の体躯を養え

Nurture your body in your early days

若き日に汝の智能を磨け

Develop your intellect in your early days

若き日に汝の希望を星につなげ Aim your hopes towards the stars in your early days

TOP*NEWS 第43回剛健旅行 無事終了

高輪カップ開催(卓球、女子バスケット、吹奏楽)



さあ、スタート



高校3年生 最後の剛健旅行スタートです



林道を走ります!



救護所でバーコードチェック



水を補給



仲良くゴール

第3回 中等部体育祭開催

仲間・支え合い

体育祭実行委員長 池田 有希

3年B組 荒川区立第五峠田小学校出身

驚くほど熱い日でした。私たち実行委員は委員としての仕事がとても忙しかったのです。そのため、給水もろくにできず、あの炎天下。私は体調を崩し、救護室へ運ばれてしまいました。

そんな中、私の分まで委員の役目を果たしてくれた人たちにとても感謝しています。また、私の体調が悪化したとき、対応してくださった先生方ありがとうございました。さらに自分も暑いのに団扇であおいでくれたみんな、心配してくださった保護者の方々のお心遣いに涙が出ました。1人ではここにいられない、支えられているんだと感じました。周りを見ると私と同じように救護室にいるどの人たちにも支えてくれている仲間の姿がありました。

白組は負けてしまいましたが、中等部最後の体育祭に私はとても満足しています。あの暑さだったからこそ、体育祭で最も大切なことが見えたと思います。



選手宣誓



手作りの団旗



入場行進(1A優秀賞)



組体操



全員リレー



箱リレー



白組応援☆



赤組応援☆

徒競走



背渡りリレー



玉入れ

台風の目



ダンス



ボール運び競争



部活動対抗リレー

いろんな人に支えられた応援団

赤組応援団長 阿部 聰

3年A組 目黒区立向原小学校出身

僕は初めて、応援団長をやりました。みんなのことをまとめるのはあまり得意ではないのですが、自分なりに頑張ってみんなのことをまとめようと思いました。僕の周りでたくさんの友達がいろいろ支えてくれました。中3の女子の応援団はダンスの振り付けやかけ声などいろいろ決めてくれました。また、1・2年の応援団もいろいろ手伝ってくれました。ほかにも、旗作りをしてくれた人や先生方にもいろいろ支えられたからできたことだと思いました。

みんな支えてくれたのだから、今度は自分がみんなを支えられる側になりたいです。



赤組応援団参上☆

応援団から学んだこと

赤組応援団員 牧野 彩季

2年A組 横浜市立滝頭小学校出身

私は、今年で応援団になったのは2回目です。応援団になった理由は小学生の頃に1度やってみたらすごく楽しくてみんなのためになることをするのが好きだったので中学校でも応援団をやることを決めました。

日々の練習は大変でした。でも先輩方が優しく丁寧に教えてくださったのでスムーズに進むことができたと思っています。そして体育祭当日はみんなが協力して声を出してくれたので、赤組が優勝できたのだと思います。私が応援団から学んだことは、人と力を合わせて協力することはとても大切ということです。来年は今までの経験を活かし、最高学年として今年よりもっと頑張りたいです。

団長

白組応援団長 木内 信之介

3年B組 台東区立富士小学校出身

僕は、中等部3年間応援団をやりました。2年生の時は副団長で、今年は団長になりました。練習を始めた頃の応援団は練習らしい練習ができず、なかなかまとまることができませんでした。しかし、そんな応援団も本番になるとビックリするくらい声が出ていて、他のクラスメイトを盛り上げてくれていました。足を怪我しながらもロンドートやハンドスプリングを成功させてくれた2年生の高林君や1年生の熊井君をはじめとした応援団員には本当に感謝しています。この思いは僕だけでなく、中等部最後の体育祭となった3年B組のクラスメイト全員が思っています。本当にありがとうございます。そして3年間応援合戦の時に一芸（「ゲット」）をやらせて貰えてありがとうございます。



白組応援団参上☆

熱かった体育祭

白組応援団員 熊井 健将

1年B組 川崎市立子母口小学校出身

僕は、今年応援団をやりました。小学校の時にも応援団をやったのですが、その時は恥ずかしくて思いっきりできませんでした。

応援団の練習が始まったころは踊りや応援の仕方などが全然わかりませんでした。しかし、たくさん練習してうまく踊れるようになれたので、とてもうれしかったです。

本番では恥ずかしさを捨て、思いっきりやって楽しかったです。みんなや先輩方の競技中も旗を振ったり声を出して応援し、とても熱くなりました。

初めは誰も応援団に立候補しなかったからやったのですが、最後はとても楽しかったので、応援団をやってよかったですと思いました。

第43回 剛健旅行1270名参加 完歩率95.2%

7月13日、第43回目の剛健旅行が挙行されました。皆の願いが届かず、近年では稀なほどの悪天候になつてしましました。特に、中・高3年生にとっては年々天候的に悪化の一途をたどる形になってしまったのが残念なところです。しかしながら、悪天候であったがために、その分、ゴールしたときの達成感は何ものにも変えがたいものとなつたに違ひないでしょう。剛健旅行が過酷であればあるほど、思い出は大きなものになり、忘れがたきものになるのです。

結果発表

高校男子トップ10 (39.78km)	高校女子トップ10 (27.0km)	中等部男子トップ10 (15.8km)	中等部女子トップ10 (15.8km)
1位 2年 10組 鶴田 裕也 (3時間41分)	1位 3年 5組 曽我 貴子 (3時間22分)	1位 3年 A組 阿部 聰 (1時間31分)	1位 3年 B組 生沼みなみ (2時間 5分)
2位 3年 8組 木村 勇人	2位 1年 1組 吉見早友理	2位 2年 A組 野村 浩輔	2位 3年 A組 伊藤 真穂
3位 2年 5組 渡邊 貴也	3位 3年 1組 前森 香奈	3位 3年 A組 笹原 淑平	3位 3年 A組 吉野 静
4位 1年 3組 佐波 安里	4位 3年 8組 戸田 有穂	4位 3年 B組 伊東慎一郎	4位 3年 B組 影山 乃依
5位 2年 4組 高橋 優輔	5位 3年 2組 嘉齋みちか	5位 3年 A組 金子 大輝	5位 3年 B組 日塔 佳乃
6位 3年 5組 神田 真琴	6位 3年 7組 石川 望瑛	6位 2年 A組 森井 啓貴	6位 3年 B組 早川妃菜子
7位 2年 3組 山内 飛慶	7位 3年 5組 中松芽久実	7位 3年 B組 中野 裕太	7位 3年 A組 白井明日香
8位 3年 3組 松本 篤史	8位 2年 2組 梅村 実菜	8位 2年 A組 大谷 拓摩	8位 3年 A組 長尾明日加
9位 1年 8組 馬場 海地	9位 3年 4組 波多江玉稀	9位 1年 B組 掛川 慶大	9位 3年 B組 吉田 瑞菜
10位 2年 7組 小田原 拓	10位 3年 2組 藤井 弘絵	10位 1年 B組 中村 将太	10位 2年 B組 新倉 彩子

周囲の支え

高校男子 第1位

鶴田 裕也

2年10組 東海大学付属高輪台高等学校中等部出身

今回の剛健旅行で、まさか自分が1位をとれるとは思いませんでした。昨年は11位だったので、今年は10位以内には入りたいと考えてはいましたが、体力的にも精神的にも上位をとることは無理だと思っていました。しかし、前日に先輩や友達が「上位をねらって頑張れ」とわざわざ応援メールをくれたり、走っていて苦しくて心が折れそうになった時に、先生方や嬬恋村の人々など多くの人が応援してくれました。ありがとうございました。とても感謝しています。あのぐじけそうな時に、周りの人々の応援があったからこそ今回の結果につながったのだと思っています。

しかしながら、ここで満足はしてはいけないとも思っています。常に自分の欠点に向き合っていかなければならないし、それは勉強や生活面などさまざまなものにいえると思うので、今後の学校生活でも向上心を持って、目標達成ができるよう頑張って過ごしていきたいです。そして、来年の剛健旅行ではもっとタイムを更新し、走っている途中に妥協することなく、今年以上に頑張って、最後の剛健旅行を楽しみたいと思います。



スタートします



浅間山をバックに



たくさん食べてね



とん汁がおいしい!!

夏休みの活動報告

全力でぶつかって

ヨット部 村山 仁美

2年1組 横浜市立矢向中学校出身

7月26日より米国サンフランシスコで行われた2011年レーザー4.7級世界選手権は、有名なアルカトラズ島とゴールデンゲートブリッジを目の前にした海面で行われました。

国際試合で思うことは、「技術」「体格」以上に「言葉」の壁があるということです。外国の選手は、英語でコミュニケーションをとりお互いに情報交換をしていますが、私にはその輪に入ることができません。顔なじみとなった選手が話しかけてくれますが、会話が続かずさびしい思いをしました。

レースは、自分の得意な風域では、上位の選手と互角の戦いができる、一時はトップで快走することができましたがなかなか勝たせてはくれません。小さいミスが瞬く間に順位を入れ替えてしまいます。世界のレベルの高さを痛感させられました。また、苦手な風域ではまったく歯が立たず、思うような着順をとることができずに苦戦を強いられ総合29位(女子51艇中)に終わりました。

目標としていた結果を得ることはできませんでしたが、この試合で学んだ多くのことを今後の生活・練習に生かしながら、いつの日か日の丸を高々と掲げられるようより一層の努力をしていきたいと思います。

たくさんの応援ありがとうございました。



野球中心の高校生活

野球部主将 東 良暁

3年1組 横浜市立蒔田中学校出身

大会結果

1回戦 対 東農大 11-8
2回戦 対 戸 山 5-0
3回戦 対 駒 大 2-7



私のこれまでの生活は、すべて野球中心でした。高校では特に、生活のほとんどが野球でした。そんな野球の最後の大会で結果が出なかったのは、本当に悔しかったです。悔しさとともに、今まで支えてくれた家族、一緒に一生懸命練習してきた仲間たち、野球部に関わったすべての人申し訳ないと思いました。しかし、結果こそは出ませんでしたがここまでやってきたことの全てが自分を成長させてくれたと思います。そして、高校野球を通して私はたくさんことを学びました。主将を務め人の上に立ち集団をまとめる難しさ、何かを考えながら行動することの大切さなど、挙げたらきりがありませんが本当にたくさんのことを学びました。振り返ってみると辛いことばかりでしたが、高輪台で野球ができるよかったです。また、やらせてくれた両親には特に感謝しています。今まで一緒にやってきた仲間や支えてくれた家族のためにも、私は野球を続け、結果を出し、皆に恩返ししたいと思います。これからも高輪台野球部で過ごしたことを忘れず、何事にも一生懸命に取り組みたいと思います。

最高の2分半

ダンス部部長 田上 結衣

3年6組 墨田区立本所中学校出身

ダンス部にとってミスダンスドリル全国大会出場というのは、1番の大きな目標です。高輪台のダンス部では、毎年この全国大会に出場していますが、年々予選での出場校が増え、全国大会が難しくなっています。その中で、私たち3年生は、全国大会出場を目標とするのではなく、全国大会で結果を残すということを目標とし、日々練習を積んできました。辛かったこと、仲間割れをしたこと、目標を見失いそうになったこと、他にもさまざまな壁につまずいてきました。そんな私たちが、全国大会出場という通過点を越えられたのは、支えてくださった方々、そして応援



してくださった方々のおかげです。私たちは、全国大会で結果を残すことが皆さんへの恩返しだと思い、全力を尽くしてきました。

先輩、後輩、友達、顧問の先生、保護者、さまざまな人からの応援の声が上がる中、私たちはいろいろな気持ちを抱えながら、今までで1番楽しかった最後のステージを終えることができました。

今回は、目標としていた結果にはならず、残念ながら入賞することができませんでした。しかし、最高のステージで力を出し切ったので悔いはありません。あのステージに立てたこと、たくさんの応援の中で踊れたこと、最高のチームに出会えたこと、一生の思い出になりました。本当に今まで、たくさんの応援をありがとうございました。

これからの私たちは、最後のイベントとなる10月の建学祭に向けて動き始めます。心の底から楽しめる舞台を作り上げるために、部員一同頑張りますので、これからも応援をよろしくお願いします。

高校1学年だより

スポーツ大会

高校第1学年のスポーツ大会は6月25日(土)にアリーナで行われました。結果は、第1位2組、第2位は4組・6組でした。今回は優勝した2組の感想を載せます。

スポーツ大会を通して感じたこと

今回のスポーツ大会は、1年生にとって初めてのクラスごとに行う行事でした。とても緊張していた入学式から2か月ほどたったので、今回のスポーツ大会はとてもリラックスして行うことができました。私はバレーボールとバスケットボールに出席しましたが、両方とも自分だけの力では勝つことができず、クラスメートと互いに励まし、支え合うことができて初めて勝つことができる、改めて感じました。私たち2組は今回、総合優勝することができましたが、これは決して個々の能力が高いからではなく、チームとして一致団結することができたからだと思います。逆に、個々の能力が高くても一致団結

大谷 優斗

1年2組 森村学園中等部出身

することができなければ優勝できないと強く感じました。

私はスポーツ大会を通して、仲間を思いやることの大切さや重要性を理解できたと思います。それと同時に、仲間を信頼することの難しさも理解できたのではないかと思います。1月にはもう1回スポーツ大会がありますが、それまでに今回よりも仲間を信頼し合えるようになれば、必ず結果がついてくると思います。なので、日々の学校生活やいろいろな行事を通して仲間との絆を深めていき、次回のスポーツ大会が今回のものよりもずっと思い出に残る素晴らしいものにしたいと思います。



準備体操しっかりやろう



優勝するぞ!



みんなで応援



白熱した試合に釘付けです



力いっぱい引けー!



クラスの絆が深まりました



負けないぞ

高校2学年だより

それぞれの感動を胸に…研修旅行

高校2年生は6月23日～6月28日の日程で研修旅行に行ってきました。1人ひとりがそれぞれのコースで、普段はできない体験を積んで1回り成長して帰ってきたようです。それぞれのコース長に感想を書いてもらいました。

■オーストラリア 研修コース

2年6組 新津 墾

東海大学付属高輪台高等学校中等部出身

私は今回、オーストラリアの研修コース長をさせていただきました。研修で学んだことはとても多く、特に外国人とのコミュニケーション能力が身にきました。外国の文化を理解するという面では、普段学校ではできないこと、例えば、現地の高校生と直接話すことなどで学びました。今回の研修で経験したことを今後の英語、OC、CAL Lなどの授業に役立てたいです。



■オーストラリア ホームステイコース

2年8組 木内 一希

台東区立忍岡中学校出身

日本とオーストラリア。海を挟むが、同じ地球上にある国です。しかし、なぜこんなにも、さまざまなことが違うのでしょうか。具体的にいうと、食事、言語、習慣など言い出すときりがありません。違う中にも、



共通点はあります。それは“Thank you”「ありがとう」という気持ちです。英語が上手く伝わらないときでも、この言葉はコミュニケーションをとるための大切な言葉です。私たちが今、学ばなければならぬことを学べたホームステイでした。

■ハワイ 研修コース

2年4組 小林 直紀

東海大学付属高輪台高等学校中等部出身

僕は今回初めてハワイに行きました。空港に着き、最初に感じたのはハワイの気候の過ごしやすさです。気温は高くても、日本と違い、じめじめしていませんでした。皆でダイヤモンドヘッドに登ったり、シークレットアイランドに行ったりしました。他にこの研修旅行で印象に残ったのは、ハワイの人たちの陽気さです。気さくに挨拶してくれ、話しかけてくれました。今回は短い期間しかハワイにいられなかつたので、今度はゆっくり長い間行ってみたいです。



■ハワイ ホームステイコース

2年10組 長瀬 慶太郎

東海大学付属高輪台高等学校中等部出身

私たちハワイホームステイ組は、名前の通りホームステイをしてきました。ホームステイとは、簡単に言うと現地の家族に受け入れてもらい共に生活を送ることです。ですから、観光だけではなく、ハワイの家庭での習慣や文化などを体験することができました。今回の研修旅行では、全員がホストファミリーと楽しく学ぶことができたので、良い研修旅行になったと思います。



■北海道コース

2年3組 横山 拓矢

足立区立上沼田中学校出身

北海道の大自然の中で過ごした6日間で、私たちは多くのとても素晴らしい経験をすることができました。普段味わえない味のものを食べ、東京では見ることのできないものを見て、その場所ならではの音や、都会では出会わない匂いの中で過ごしました。なによりも北



海道の過ごしやすさをこの身で感じることができました。この研修旅行でのことは忘れるかもしれません。

■沖縄コース

2年2組 恩地 祥博

港区立高松中学校出身

やはり1番楽しかったのはマリンスポーツでした。台風の影響で前代未聞の5日目のマリンスポーツになり、雨の心配もありました。しかし、当日は雨が降ることなく、良い天気に恵まれました。特によかったのが、やはり体験ダイビングでした。最初はパニック状態になりましたが、潜っていぐにつれ美しい海の世界に魅了されました。沖縄にいた6日間は夢のようで高校生活の1番の思い出になったと思います。



高校3学年だより

スポーツ大会

6月27日(月)小雨の混じる天候の中、さいたま総合グラウンドにおいてソフトボール(男子)、キックベースボール(女子)、サッカー(男子・女子)、クラス対抗リレーの4種目で競技が行われました。高校生活最後のさいたま総合グラウンドでのスポーツ大会ということもあり、どの競技もクラスの名誉をかけ白熱した試合が繰り広げられました。

大会結果	総合優勝：7組	各種目 優勝クラス	サッカー(男子)：5組 サッカー(女子)：7組 ソフトボール(男子)：1組
	準優勝：4組・5組		キックベースボール(女子)：7組 クラス対抗リレー：4組

「最後」に向けてのスタート

古下 里美

3年7組 横浜市立潮田中学校出身

私たち7組は、今回のスポーツ大会で総合優勝することができました。優勝候補の男子サッカーがまさかの敗退となってしましましたが、女子サッカー、女子キックベースで優勝することができ、補うことができました。私たちにとって、スポーツ大会をグラウンドで行うのは今回が最後でした。今後の行事も、すべて高校生活最後のものになっていきます。今回のように男女で協力して行事を盛り上げ、一生の思い出となるように「高校生活最後」を楽しみたいと思います。今回の優勝は、その最後に向けてとても良いスタートとなりました。

PERFECT

関 海馬

3年4組 川崎市立平間中学校出身

天気は下り坂。しかし僕たちのスポーツ大会への気持ちは変わりませんでした。僕たちはこの日のために毎日練習を積み重ねてきました。練習の成果があまり出せず、悔しい思いもしましたが、クラスとしては総合準優勝という結果を残すことができました。特にリレーでは誰もが文句を言えないほどのぶっちぎりでのゴールでした。英語で言えば“PERFECT”です。次のスポーツ大会では1つの種目に限らず、すべての種目で“PERFECT”を目指したいです。



クラスの勝利のために!



ゴールめがけてシュート!



クラスメイトにバス!



準優勝した4組



総合優勝した7組



午前中の雨を振り切ってリレーを迎ました



活躍したクラスメイトをたたえます



グラウンドでの最後のスポーツ大会は盛り上がりいました

作文コンテスト

5月25日、高校3年生にとって東海大学推薦入試の書類審査の1つとして小論文試験が行われました。日時を同じくして、中等部でもその予行練習として、作文コンテストが行われました。

今年度は「社会の中で生きるということ」をテーマに50分間で400字の作文に取り組みました。

50分間で自分の考えをまとめ、文章にすることは簡単なようで難しいものです。今回グランプリ、準グランプリに選ばれた皆さんには、それぞれの思いを400字という文章のなかでしっかりとまとめてくれました。皆さんも他の人の文章や読書を通して書き方を学び、自分の文章に活かしましょう。



1年グランプリ

北川 沙季

1年B組 港区立白金小学校出身

私は中学生になって社会が大きく変わったと思います。小学生の頃より難しい課題や勉強が増え、「学校」という施設でも大きな違いがあると実感しました。また、小学校ではあまり気にしなかった先輩方との人間関係もでき、他人にかける言葉にも気を付けるようになりました。授業や部活動の中で、決められたことを守り、自分で考え、やるときはやるというけじめをつけて生活することが中学校では特に重視されると思います。ただ人の話を聞いて行動するだけではなく、自分の考えを持つことも小学校より中学校では大切になってくると思います。そして、自分の言葉は他人にどんな影響を与えるか、どんなに言われた人が傷付くかなど、人の気持ちを考えることも、中学校という社会の中では必要だと思います。

新しい社会の中で生きるというのは、今までの社会でやっていたことを応用して行動し、更に新しい社会の中での決まりを守りながら生きることとながっていると思います。

2年グランプリ

河辺 咲恵

2年B組 横浜市立東戸塚小学校出身

私は社会というのは人の集まりだと思います。人がいなければ、なんでもないただの場所になってしまいます。「社会」という文字を下から読むと「会社」になります。会社は人がいないと意味がありません。初めて会社で働く人を「新社会人」と言うことがあります。ほかにも、「社会人になった」とか「社会の一部」などあらゆる場面で会社と社会は繋がっているようです。

その社会の中で生きるということは、ほかの人と生きるということだと私は思っています。町に歩いている人は他人だけど、同じ社会で生きている人なのです。みんなに支えられているから私は生きているのです。だから私も誰かを支えなくてはいけません。私にできることが一つだけあります。それは思いやりの心を持って、日々過ごすことです。簡単そうだけれど一番難しいことです。私は社会の中で生きるために、自分で考えて思いやりの心を持って、行動したいと思います。

3年グランプリ

日塔 佳乃

3年B組 大田区立池上小学校出身

私は昨年、中学2年生の時にけがをしました。松葉杖になってしまったので通学がとても大変でした。駅の階段や電車の乗り降りなどさまざまなところで苦労しました。しかしそんな時、通りかかった人が荷物を持ちましょうかと言ってくれたり、席を譲ってくれたりしました。見ず知らずの私のために、そんなことをしてくれて、うれしかったし、同時に感謝の気持ちでいっぱいでした。

ある日、私がいつも使っている駅の階段で親子を見かけました。お母さんは子供を2人連れていてベビーカーも持っていました。階段を上がれなさそうにしている親子を見て一度は通り過ぎた私でしたが、またその場に戻らなければいけませんでした。ベビーカーを持って階段を上ったので普段なら疲れてしまうけれど、不思議とそれは感じず、むしろ喜びが大きかったです。

社会ではお互い助け合うことが大切だということを改めて実感しました。

準グランプリ受賞者

1年 A組 安西 莊 品川区立伊藤学園出身

2年 A組 加藤 岳 目黒区立月光原小学校出身

3年 A組 金子 大輝 横浜市立鶴見小学校出身



後列左から：安西君、加藤君、金子君（準グランプリ受賞者）
前列左から：北川さん、河辺さん、日塔さん（グランプリ受賞者）

2011年度学校運営方針

基本的生活習慣を身につけさせる

本校の特色の1つは、徹底した生活指導にあります。基本的な生活習慣を身につけさせることにより、生徒の学習に対する姿勢が積極的になり、より効果的な教育が実践できます。

基本的な生活習慣の中で、特に挨拶の励行、欠席・遅刻・早退をしない、身なりを清潔にするなどの指導を徹底します。最近ヘッドフォンをして音楽を聴きながら校門を通過する生徒がいます。こちらが挨拶をしても挨拶を返してくれません。日本のソニーが1979年に発売したウォークマンが若者の新しい文化を生み出し、部屋の中から街に音楽を運び出したのですが、挨拶ができない人間まで生み出してしまったのでしょうか。少し淋しい気持ちです。

また、家庭・保護者と連携し「共育体制」を推進。さらに、社会規範意識の指導を徹底することにより、地元住民から愛される生徒を育成します。

全教職員が、範を示し、放任不可、例外不認の原則をもって生活指導にあたります。

本校を訪れた多くの方々(他校の教員、学校見学の中学生や保護者、来客)が、本校の生徒の元気な挨拶や、丁寧な対応に驚いています。今後も、基本的な生活習慣が身に付くよう指導を重ね、退学者ゼロの教育環境を推進していきたいと思います。

集会時の歌唱指導、話を聞く姿勢の徹底

私たちが入学式や卒業証書授与式、始業式・修了式、毎月の朝礼など、各種式典で歌う建学の歌や校歌には、東海大学や東海大学付属高輪台高等学校・中等部の建学の精神、歴史などが歌われています。

野球部の試合では、2回の攻撃の時に校歌の1番を歌います。高校男子バスケットボール部はハーフタイムに「建学の歌」を歌ってチームの心を一つにします。サッカーチームの試合では試合開始前に本学園の創設者松前重義先生が作詞した「無限の歌」の2番を歌います。何かことを始めるとき、みんなの気持ちを一つにする力が歌にはあります。式の前後に建学の歌や校歌を歌うのはそのためです。歌った後には、気持ちを引き締めてしっかりと話を聞く習慣を身に付けてほしいと思います。

東海大学の全付属高校の校歌は、歌詞は異なっていても曲はみな同じです。甲子園で流れる付属高校の校歌を聞くと、母校を思い出す卒業生や保護者の方々も多いのではないでしょうか。学校全員で、大きな声で建学の歌、校歌が歌えるようになりたいと思います。

「人の話をちゃんと聞くこと」は基本中の基本のマナーです。若者ばかりでなく、大人の中にも人の話をきちんと聞くことができない人がいるのは悲しい限りです。本校の3年間の集会を通して人の話を聞く姿勢をしっかりと身に付けて欲しいと思います。

SSH活動報告

7月19日から3泊4日で、1年SSHクラス49名が科学体験学習旅行をしてきました。見学先は静岡県の東海大学海洋学部清水校舎、東海大学海洋科学博物館、愛知県の生理学研究所・基礎生物研究所・分子科学研究所、トヨタ産業技術記念館、岐阜県の瑞浪超深地層研究所、核融合科学研究所、長野県の養命酒駒ヶ根工場です。今年度は、TA(ティーチング・アシスタント)として2・3年生のSSHクラスの生徒10名が参加し、1年生をサポートしました。各施設での講義、実験・実習を通して生徒たちは普段の授業ではできない貴重な体験をすることができました。

充実した3泊4日

鈴木 紗賀

1年9組 江戸川区立小松川第三中学校出身

私たちは科学体験学習旅行でいろいろな施設を見学し、講義を聞いてきました。正直私は初日の東海大学海洋学部での実習にしか興味がなかったのですが、3泊4日の内容が濃く面白かったので初日だけでなく全てに興味を持ち楽しむことができました。

その中でも特に最終日の「養命酒駒ヶ根工場見学」が印象に残っています。養命酒づくりにもさまざまな科学技術が利用されていました。瓶詰工場では、瓶を製造ライン上で選別し不良品には養命酒が入らず、その後不良品だけが省かれるというシステムになっていました。全て機械で行っているというのも驚きでした。また研究や製品開発においても、薬理学・生薬学・栽培学・微生物学など多くの科学が駆使されていました。

この訪問で製品を開発・製造することにおいても科学の力は重要になってくることを実感しました。今後、科学に興味を持つてくれる人が増えたらなとも思いました。ここには書ききれないほど、本当に充実した3泊4日を過ごすことができ、嬉しく思います。



プラズマと光の実験(核融合科学研究所)



地下300mの坑道見学
(瑞浪超深地層研究所)

TAとしての参加

鶴巻 舞

2年10組 川崎市立東橋中学校出身

私は、今回初めてTAという立場でこの科学体験旅行に参加しました。そこでは、今まで自分がしたことのない体験をたくさんすることができ、多くを学ぶことができました。今まででは先生などからの指示によって、受け身で行動をしていたのに対して、今回の科学体験旅行では指示を出す方にまわることで、その大変さや、難しさなどを学ぶことができました。そして、去年私たちの手助けをしてくれたTAの先輩への感謝の気持ちも強まりました。今回の科学体験旅行は、私が想像していたよりもハードなものでした。しかし、それ以上にやりがいがあることに気がつくことができました。初めは、TAをやることは自分自身のためでした。なので、TAという役割がやりがいのあることだとは思っていませんでした。実際にTAをやってみて反省するところもたくさんあり、少しふがいないと思う点もありましたが、最後にはやってみてよかったです。本当に貴重で勉強になる4日間でした。

最後の科学体験学習旅行を終えて

山脇 伶王

3年9組 大田区立大森第七中学校出身

今年の科学体験学習旅行、私は3年生のTAとして参加しました。この旅行の目的は「実際の研究所や企業の取り組みに触れ、科学技術に携わることを将来の仕事として捉える観念を養うこと」。私たちTAは1年生がこの目的を実現する手助けをします。

昨年の2年生として教える立場で臨んだ旅行では一変し、今年は1年生49人を率いる統率力が求められました。1年生の興味関心をより引き出すために、プレゼンテーションをより上手くするために、より楽しく学習に取り組めるように、TAは何をしたらよいのだろうか。考え、話し合い、全体を動かしていくのが3年生の仕事です。

これは私一人では絶対に実現できませんでした。4人の3年生と、6人の2年生が協力しあう、TAのチームワークがあったからこそ実現できたのだと思います。1年生だけではなく、私たちTA自身も協調性やリーダーシップ、人に教える難しさ、人を動かす難しさなど、ここに書ききれないほど多くの経験ができました。来年はもう参加することができませんが、3回目の科学体験学習旅行は私を含め多くの生徒が成長できたと思います。



先輩たちがサポートしてくださいました

高輪カップ 開催

卓球 女子バスケットボール 吹奏楽

男子 卓球の部

優勝	江東区立深川第七中学校
準優勝	川崎市立東高津中学校
3位	世田谷区立深沢中学校

参加校 16校 (16チーム)

葛飾区立上平井中学校	世田谷区立深沢中学校	横浜市立新田中学校
葛飾区立本田中学校	足立区立蒲原中学校	横浜市立上の宮中学校
江東区立深川第七中学校	鳩ヶ谷市立八幡木中学校	船橋市立二宮中学校
大田区立田園調布中学校	松伏町立松伏中学校	東海大学付属高輪台高等学校中等部
江戸川区立鹿本中学校	さいたま市立大谷場中学校	
板橋区立第一中学校	川崎市立東高津中学校	

女子 卓球の部

優勝	川崎市立東高津中学校
準優勝	松伏町立松伏中学校
3位	船橋市立二宮中学校

参加校 10校 (10チーム)

江戸川区立鹿本中学校	さいたま市立大谷場中学校	船橋市立二宮中学校
越谷市立西中学校	川崎市立東高津中学校	習志野市立第一中学校
鳩ヶ谷市立八幡木中学校	横浜市立新田中学校	
松伏町立松伏中学校	横浜市立上の宮中学校	



男子優勝 深川第七中学校



女子優勝 東高津中学校



高輪台中等部



試合風景

顧問 細田 功

第6回高輪カップが7月16日(土)、本校アリーナにおいて行われました。昨年よりも参加校が増え、1都3県から男子は16校、女子は10校が集まり熱戦が繰り広げられました。男子の決勝戦は、第4回大会と同じ顔合わせとなり、今回は深川第七中学校が東高津中学校を接戦の末に3対2で破り、第1回大会に続き2度目の優勝を果しました。女子は、予選リーグで1ポイントも落とすことなく決勝トーナメントに進出した東高津中学校が、決勝で松伏中学校を破り見事、初優勝を果しました。

本校中等部男子は、予選リーグ1勝2敗で3・4位トーナメントに進出しましたが、善戦むなしく初戦で板橋第一中学校に0対3で敗れてしまいました。しかし、技術力やチーム力では昨年以上に大きく成長した姿を見ることができました。

今大会が、各参加校の顧問の先生方ならびに多くの方々のご協力により無事終了できたことを心より感謝申し上げます。

女子バスケットボールの部

優勝	世田谷区立烏山中学校(5年連続5回目)
準優勝	板橋区立高島第一中学校
3位	墨田区立両国中学校・目黒区立第七中学校

参加校 8校 (8チーム)

世田谷区立烏山中学校	板橋区立高島第一中学校
目黒区立第七中学校	墨田区立両国中学校
練馬区立開進第三中学校	大田区立出雲中学校
川口市立芝中学校	東海大学付属高輪台高等学校中等部

高校監督 高橋 佑未子

各参加校の顧問の先生方、選手の皆さん、そして保護者の皆様のご協力で、本大会も早いもので6回目を迎えることができました。今年は参加チーム8校中5校が東京都大会に出場するということで、予選リーグから大混戦となりました。サッカー日本女子代表がW杯で世界一に輝いた日にふさわしい『最後まで諦めない』熱戦が今大会でも展開されました。特に決勝戦では、両者の力が拮抗し、大会初の延長戦となりました。ベンチからは選手に絶え間なく声援が注がれ、それらを受けた選手がベンチからの声援に応え、試合を見守る誰もが勝敗に関係なく、ナイスプレーを見せてくれた両校に大きな拍手を送りました。最後に、今後も参加してくださる皆さんに満足していただける大会になるよう、審判の技術向上や円滑な運営を目指し、部員一同力を合わせて努力を重ねていきます。



優勝 烏山中学校



準優勝 高島第一中学校



3位 両国中学校



3位 目黒第七中学校

吹奏楽の部

参加校 20校

横浜市立富岡中学校	八王子市立上柚木中学校	品川区立東海中学校	朝霞市立朝霞第三中学校
横浜市立田奈中学校	江戸川区立東葛西中学校	葛飾区立立石中学校	市川市立第五中学校
横浜市立もえぎ野中学校	江戸川区立葛西第三中学校	板橋区立板橋第一中学校	市川市立妙典中学校
川口市立北中学校	西東京市立田無第四中学校	板橋区立志村第一中学校	川崎市立中野島中学校
習志野市第七中学校	藤沢市立秋葉台中学校	さいたま市立土屋中学校	東海大学付属高輪台高校中等部

顧問 畠田 貴生



第3回高輪ウインドフェスティバルが、7月24日(日)に本校中等部を含む20校の参加により、本校アリーナにて盛大に開催されました。演奏者1095人、保護者の皆様をはじめとする観客の方が700人を超えて、熱気に溢れた演奏が繰り広げられました。プロのプレイヤーである3人の講評員の先生方に今後の演奏活動へのアドバイスをいただき、目前に迫った吹奏楽コンクールへの練習に役立てようとしている中学生の姿が印象的でした。フェスティバルの最後には、本校吹奏楽部のスペシャルコンサートを楽しんでいただき、終演を迎えました。節電対応の中でのフェスティバルでしたが、顧問の先生方から参加を喜ぶ声が多数寄せられ、第3回にして早くも定着した感がある素晴らしいイベントとなりました。

TOKAI キャンパスメッセージ

北欧を専門的に学べる日本で唯一の学科

北欧学科は、日本では唯一の北欧を専門的に教育・研究する学科です。“個”を大切にしながら“平等な社会”を築き上げる「北欧の精神」を、社会・文化・言語などの分野から学ぶ授業を展開しています。

北欧学科の学びの対象でもあるデンマーク、スウェーデン、ノルウェー、フィンランド、アイスランドの5カ国には、それぞれ独自の歴

史や文化、そして言語があります。東海大学の北欧学科は、デンマーク語、スウェーデン語、ノルウェー語、フィンランド語を体系立てて学ぶことができる、日本でも珍しい学科です。

学科のカリキュラムには、実際に北欧へ出かける「北欧語海外研修」がありますが、北欧の人々の暮らしや社会・文化が体験でき

文学部北欧学科講師 上倉 あゆ子

ると、学生たちからとても人気があります。2011年度のスウェーデン・コースには、高輪台高校出身の学生も2名参加します。

北欧を学ぶことは、個人としての生き方や日本社会のあるべき姿を考えることにつながります。大学で皆さんとお会いし、共に北欧社会の心を学べることを楽しみにしています。

北欧学科で4年間を過ごして

文学部北欧学科2011年3月卒業(高輪台高校2007年3月卒業) 土橋 瑞香

私が北欧学科で過ごして1番心に残っているのは、北欧語海外研修です。私はスウェーデン語を勉強していたので、スウェーデン・コースに参加しました。海外研修では、どんなに小さなことでもスウェーデン語を使って現地の人と話すことにしようと決めていました。通じた時はとても嬉しかったですし、現地の人は日本人がスウェーデン語を話すことによって驚いていました。現地では美術館や博物館にも行き、授業で学んだこと以上の歴史や文化を勉強することも

できました。

北欧学科では、ネイティブの先生による言語の授業や、児童文学や環境などの授業を通してさまざまなことを学ぶことができ、ふだんの学生生活もとても楽しく充実したものになると思います。

私自身、大学を卒業した今でも、北欧と関わってみたいという気持ちがありますし、スウェーデン語の勉強を続けていきたいと思っています。



北欧語海外研修(スウェーデン・コース)にて

お知らせ

第10回中等部・高校合同体育祭
9月27日(火) 本校総合グラウンドにて 9:00開会式

最寄駅：JR高崎線さいたま新都心
※さいたま新都心駅からグラウンドまでは徒歩約15分です。
・品川駅からJR線経由で約45分
・泉岳寺駅から都営浅草・JR線経由で約53分
・白金高輪駅から東京メトロ南北線経由で約56分
※グラウンドには駐車場がございません。
公共交通機関をご利用ください。

●雨天の場合について
9月27日(火)が雨天の場合は9月30日(金)が体育祭、
9月28日(水)は振替休日です。(9月28日体育祭実施の場合、9月30日は振替休日です)

●実施かどうかの最終的な判断はメール配信で確認しましょう。

●運動靴を忘れずに持参しましょう。

行事予定

September 9月

- 1日(木) 朝礼[正制服着用]、避難訓練(1時限) 短縮授業
- 3日(土) 後援会委員会②
- 6日(火) 高校1年母校訪問 中学校巡回 高校2.3年、中等部生徒自宅学習日
- 7日(水) 専門医によるカウンセリング
- 8日(木) 生徒による授業評価アンケート②
- 10日(土) 東海大学後援会
- 13日(火) 前期期末試験(高校～16日、中等部～15日)
- 16日(金) **中等部生写大会(雨天時午前授業)**
- 19日(月) 敬老の日
- 20日(火) 答案返却日 校医相談日⑤
- 21日(水) 生徒休業日
- 22日(木) 成績不振者指導
- 23日(金) 秋分の日
- 24日(土) **中等部水泳実習②(東海大学湘南校舎)**
- 26日(月) 平常授業
- 27日(火) **第10回中等部・高校合同体育祭[さいたま総合グラウンド]**
雨天時10月9日の振替休日
- 28日(水) 平常授業
- 29日(木) 平常授業
- 30日(金) 中等部・高校合同体育祭予備日 雨天時平常授業
9/27体育祭実施の場合振替休日

October 10月

- 1日(土) 保護者会「家庭通知表」配布(中、高1～3年)
- 3日(月) 後期始業式 短縮授業
- 4日(火) 中学校教員説明会
- 5日(水) 建学祭開幕式(7限目) 塾教員説明会
- 6日(木) 建学祭準備(～7日)
- 7日(金) 建学祭準備
- 8日(土) **第47回建学祭(～9日)**
- 10日(月) **体育の日**
- 11日(火) 建学祭閉幕式 短縮授業
- 12日(水) 中等部・高校合同体育祭予備日2 雨天時平常授業
- 13日(木) **学年集会(中3、高3)**、保護者面談(高2、～11月18日)
- 15日(土) 英語検定(中2、中3)※中1、高校は希望者のみ、受験生・保護者学校説明見学会(高校、10:00)
- 18日(火) 校医相談日
- 20日(木) **東海大学進学説明会(高1、1限)** **学年集会(中1)**
教育実習(～11月11日)
- 23日(日) 受験生・保護者学校説明見学会(中等部、10:00)
- 27日(木) **学年集会(高1)、マナー講座(中1)**
- 29日(土) SSH成果報告会
- 31日(月) 木曜日の授業

研修旅行(高校2年)の様子



北海道



オーストラリア



ハワイ



沖縄

編集後記

「小笠原諸島」が「平泉」とともに世界遺産に登録された。「平泉」は「文化遺産」として国内12件目の登録だが、「小笠原諸島」は国内の「自然遺産」としては、意外にも北海道の「知床」に統いて4件目の指定だ。「小笠原」は「東洋のガラパゴス」と呼ばれるほど、島固有の動植物が多い。しかし、今回の登録は手放しでは喜べないという。世界遺産に登録されたことで、一気に観光客が押し寄せ、外来種が持ち込まれることが懸念されるからだ。「世界遺産」イコール「観光地」でないことを再認識する必要がある。(か)

東海大学付属高輪台高等学校・中等部

TEL.03(3448)4011 FAX.03(3448)4020 ホームページ:<http://www.takanawadai.tokai.ed.jp/>